

令和8年度 第1回 神奈川県立平塚工科高等学校
学校運営協議会 議事録

《開催日時》

令和8年6月5日（金）14：30～16：30 平塚工科高等学校 第一応接室

《出席者》

学校運営協議会委員（6名/敬称略）

| | |
|--------------------------|--------|
| 神奈川工科大学常務理事 | 石田 裕昭 |
| 平塚市立浜岳中学校校長 | 宮田 篤 |
| 平塚市立なでしこ小学校校長 | 棟居 手古奈 |
| 特定非営利活動法人 ヨコハマみらい環境協議会理事 | 坂本 雅晴 |
| 横浜ゴム株式会社人事部平塚労務グループ担当課長 | 石井 伸一 |
| 平塚市市長室災害対策課訓練担当課長代理 | 大川 智裕 |
| 神奈川県立平塚工科高等学校長 | 塩浦 健吾 |

平塚工科高等学校（11名）

| | |
|-------------|-------------|
| 副校長 | 桐谷 鋼哉 |
| 教頭 | 工藤 敏彦（司会進行） |
| 事務長 | 三宅 正久 |
| 総括教諭（学事G） | 栗田 敏夫 |
| 総括教諭（生徒支援G） | 小杉 保貴 |
| 総括教諭（教科外G） | 長井 政寛 |
| 教諭（進路指導G） | 曾根 茂 |
| 総括教諭（総務G） | 秋田谷 隆太 |
| 総括教諭（広報企画G） | 吉泉 翔太 |
| 教諭（総合技術G） | 土橋 恵 |
| 業務アシスタント | 府川 仁彦（記録） |

《欠席者》（2名/敬称略）

| | |
|----------------------|-------|
| 東海大学情報理工学部情報科学科教授 | 室谷 裕志 |
| しおかぜサポーター's (PTA) 代表 | 吉田 舞 |

1 学校運営協議会委員委嘱

校長より学校運営協議会委員（出席者）へ委嘱状をお渡しする。1年間どうぞよろしくお願
いいたします。

2 校長あいさつ

2040年問題に立ち向かうネクストハイスクール構想により、地域産業革新のための高度な専
門人材の育成が必要とされており、本校においてもその実施計画を策定し、地域に発信してい
かなければならない。さらに専門学科としての機能強化を一層図っていく必要がある。委員の皆
様からもご協力をいただきたい。

3 学校運営協議会会長の選出

今年度の会長として石田裕昭委員が推薦され承認された。

4 協議

(1) 令和8年度学校運営協議会の運営について

副校長より令和8年度学校運営協議会計画書について報告があり、今年度は3回の協議会を計
画していることについて委員から承認された。

(2) 令和8年度取組について

ア 授業見学について

【委員より】

- 少人数での授業、実験が行われていたことが良かった。
- 技術を身に付けることの重要性を感じた。ものづくりの授業の様子を小中学生にも見せたい。
- 授業を拝見するのが楽しみである。少子化に伴い予算が削減されることを危惧している。
- 授業の延長線上に企業の取組があると感じさせられる授業であった。ものづくりの重要性を身
に付ける授業であると感じた。
- 授業の中で生徒が技術を習得していること、また、生徒同士の研鑽、協調性を感じた。

イ 令和8年度の主な取組内容及び目標設定について

[学事グループ]

資格取得などを促進し、幅広い視野を身に付けさせたい。

[生徒支援グループ]

自転車の交通違反に青切符が適用されるようになった。登下校時を中心に、法令を遵守して交
通マナーを守るよう指導を徹底していきたい。

[教科外グループ]

学校生活の質の向上、部活動への加入率50%以上を目指したい。

[進路指導グループ]

進路ガイダンスを前年度より前倒しして実施し、進路決定へのプロセスを早期にイメージさせ
たい。

[総合技術グループ]

インターンシップを実施するなど就業体験の機会を積極的に提示したい。

[広報企画グループ]

本校の魅力・特色を地域や中学生に伝えるため、ホームページやインスタグラムなど SNS の積極的な活用を考えている。更に今年度は学校紹介のポスター、リーフレットなどをリニューアルし本校の魅力を積極的に発信する。また、学校説明会の開催時期などを見直して、効果的なタイミングで実施したい。

[総務グループ]

PTA をしおかせサポーターズと称し保護者の参画を促している、防災活動なども地元自治会などと協働していく。

[副校長]

職員対象の不祥事防止研修を毎月行い、不祥事を自分事として考えてもらう手立てを講じている。働き方改革を加速化させ、職員が生徒と向き合う時間を確保するとともに、職員が定時に帰宅してライフ・ワーク・バランスを実現できるよう進めていきたい。

[質疑応答・ご意見・感想]

【委員より】

大学進学者数が横ばいであるが、何か要因があったのか。環境化学系の生徒の動向に変化はあったのか。大学では工学系に女子学生を増やしたいという方針がある。

【学校より：進路指導グループ】

大学進学者数の増減に、過去3年間特に変化はない。環境化学系では「地球環境化学」などの授業づくりを行っており、その内容に興味を惹かれる女子生徒はこの系を選択している。

【委員より】

世の中が変化していく中で、工業高校として新しい技術、技能を取り入れながら、新たな取組に着手して挑戦を続けてほしい。

ウ 今年度の広報活動について

令和9年度入学者向け学校紹介のポスター、リーフレットをリニューアルした。地域や中学生・保護者に対して積極的な広報活動を進めていきたい。小中高連携、高大連携に加え、高校生のマンパワーが地域で貢献できる場をご提供いただくなど、平工生の地域での活躍を学校の魅力として発信していきたい。本日は時間が限られているため、後日、アンケート回答形式でご意見をうかがいます。

5 その他

○県教育委員会から依頼があった「教育に関する意識調査」の回答にご協力をお願いします。

○次回、第2回学校運営協議会は、令和8年10月30日（金）を予定しています。